

令和2年度 古賀市社会教育委員の会議の年間活動計画

令和2年5月20日古賀市社会教育委員の会議

1. 令和2年度社会教育委員の会議の取り組み

令和2年度は、当初、生涯学習笑顔のつどいの開催を軸として、委員相互の活動紹介や研修参加による社会教育への理解の深まりなどに取り組む予定としていました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止策により第7回生涯学習笑顔のつどいをはじめとした諸々の社会教育・生涯学習事業が中止・延期となるなかで、当初計画どおりの社会教育委員の会議の取り組みを進めることが困難になっています。

そこで、平成28年度に引き続き「提言書」の策定の取り組みを行うことを企画しました。

2. 提言の取り組み

これまで、古賀市社会教育委員の会議では、古賀市教育委員会に対して「提言書」という形でさまざまなテーマの意見具申を行ってきました。

前回は、テーマを「古賀市における放課後等の子どもの居場所について」とし、平成28年度に提言を行っています。

内容は、まず、家庭における親子のコミュニケーションの実態把握（アンケート調査）や実情分析を行い、潜在的な課題や悩み事等を明らかにし、それらの解決策や取り組みの提言を行い啓発パンフレット「親子 de コミュニケーション」を作成し、各小中学校へ配布できました。

また、地域における放課後等の子どもの居場所についての実情把握や課題分析を行い、それぞれの居場所（組織）の共通課題や地域間の取り組み格差について言及しました。

その成果として、「ししぶ児童センター」の設置が実現するなど、提言書での意見具申は教育施策の策定方針に大きな影響力を発揮していると言えます。

3. 令和2年度提言書作成の取り組みについて

社会教育委員は、それぞれ異なる活動母体から選出されたメンバーで構成されており、種々の知見・識見を有しています。

また、それぞれの立場は独任制であり、固定された立場にとらわれない自由な意見を発言することができます。

そこで、令和2年度提言書は、独任制の委員の経験を活かした提案性にする事としてはいかがかと考えます。

つまり、統一されたテーマについて研究・分析を深めるのではなく、社会教育を広範に見渡し、自らの経験から見えることを自由に提案するものです。

4. 年間活動計画（案）

年 月	提言書策定計画	研修計画
令和2年 5月	提言書作成に向けた活動計画決定 発表分担	
令和2年 6月	グループ別活動計画・活動開始 委員の活動発表①（松本議長）	
令和2年 7月	委員の活動発表② （平島委員、丸井委員）	
令和2年 8月	委員の活動発表③ （秋山委員、井浦委員）	
令和2年 9月	委員の活動発表④ （角森副議長、村山委員）	9月下旬 福岡ブロック社会教育委員研修会 （宗像市 or 福津市）
令和2年10月	委員の活動発表⑤ （橋爪委員、國友委員）	未定 福岡県社会教育委員研修会
令和2年11月	提言書中間報告会① （松本議長、平島委員、丸井委員、 秋山委員、井浦委員）	11月19日・20日 九州ブロック社会教育委員研修会 （沖縄県・5人） 事例発表リハーサル①
令和2年12月	提言書中間報告会② （角森副議長、村山委員、 橋爪委員、國友委員）	事例発表リハーサル②
令和3年 1月	提言書最終報告会① （松本議長、平島委員、丸井委員、 秋山委員、井浦委員）	1月23日 糟屋地区社会教育委員研修会 （古賀市事例発表）
令和3年 2月	提言書最終報告会② （角森副議長、村山委員、 橋爪委員、國友委員）	市長、教育委員との懇談会
令和3年 3月	提言書策定・教育委員会への提案	